



発行所 磐城日日新聞社 福島県磐城市若松5-1 電話代表387番 編集人 比佐不二夫 発行人 比佐不二夫



つるぎれた小名川木橋事件

何等の不法もない

と、辯明する立花市長

立花不明朗土木行政と一部の痛烈な批判を浴びて物議をかもし上っている磐城市小名川木橋工事。五日工事請負者同市古港渡邊孝との間に請負金額十四万六千円で正式契約し、早速着工、今月末完成の予定となつた。

が議会は一部の反対を押し切つてこれを可決したものであるが、最近工事化と報導しているがこれに私を故意に傷つけようとするものとしか考へられぬ。

今日の主張

政治への信頼と批判の基盤

比佐 凡風

仮紙いなき民権紙によつて小名川木橋工事は幸次郎橋と命名され再三にわたる報道によつて大きく磐城市政界は勿論原台の話題にまでクロスアップされて来た。ここで我々が見なければならぬことは、信紙の偉大なる力であるが、と云う

磐城市政だより

人事
立花市長、村上福社事務所長職責者慰霊祭のため江名岸浦へ中田助、長瀬議長内郷市制祝賀式列のため内郷市へ

農業委員会
小名川農業委員会は午前九時から小会開議で、会議規則設定、農地法第三條ノ一許可申請の件等審議

視察と見学
安達郡遊川村々会議員一行七名併併視察のため来市、江名第一小学校生徒百名市役所、中央公民館を見学

中央公民館
これを代用するとして、石二島もねらつて着手し、出来ぬと答へたまでである

架橋の理由が不明だ
小林仁議員
誰が考へても不急不要の小名川橋をこんな急が

申請された(菅原土木委員)
菅原土木委員は、架橋する事に對しては既に議会の議決を経ているのであるから、これを執行するに当たっては、市長の専断で、市例に準じて三十万圓以内の予算で、市長の専断で處理し得る事になつており、何の不思議もない、私は市民の市長として誠意と良識に信をもち、常に行動して、市民の事を強く市に訴へたい。

議決された(菅原土木委員)
見識によるものであり、今更何と云ふ必要はない。市長より三十萬以下の市長専断に對して正副委員長に諮ると云う議決案は、市長に諮ると云う議決案は、充分なる審議の時間を得なかつた、観音橋と感違ひして、と言つて、吾々には信頼と共、常に批判の眼をもつて吾々の政治を見なければならぬ宿命がある、その批判は常に公益を増大する建設的見地に立脚しなければならぬ。目的のため手段を破棄するものであることを強く社会の良識に訴へたい。

- PTA 福田晃一(青年会) 石井芳江(文化団体) 石井正(体育協会) 松田栄枝(民生委) 田口謙生(宗教団体) 太田武彦(学識経験者) 鈴木福壽(日本水産) 武田竹夫(労働会) 木田谷平(市議会)
- 若松郁哉(小学校) 星春治(中学校) 高橋宣一(青年会) 竹村タキ(婦人会) 小針清史(小学校) 酒井源之助(漁協) 秋山徹(農協) 白土覺治(民生委) 山富太(区長) 坂本菊治(区)
- 安高庫蔵(学校) 渡辺武次(区) 志賀進(農協) 佐藤寛(青年会) 小林重三(体育協会) 米澤善明(PTA) 佐藤
- 藤原一(下遠野武(民生委) 松井清水(学識経験者) 鹿島公民館 金成信成(学校) 荒川恒義(農協) 箱崎善教(PTA) 小泉登記(婦人会) 遠藤政雄(青年会) 八代恵子(区) 鶴沼忠美(民生委) 草野道春(学識経験者) 箱崎亮俊(宗教) 志賀久馬(学識経験者)
- 根本竹男(支所次長) 安藤力(農協) 久保木吉士(学識経験者) 久保木重雄(市議会) 根本清秀(学校) 永山直司(民生委) 大野正(学校) 柴田貞雄(青年会) 高木ヨシエ(婦人会) 高木孝一(学識経験)
- 教育委員会

架橋の理由が不明だ
小林仁議員
誰が考へても不急不要の小名川橋をこんな急が

架橋の理由が不明だ
小林仁議員
誰が考へても不急不要の小名川橋をこんな急が

架橋の理由が不明だ
小林仁議員
誰が考へても不急不要の小名川橋をこんな急が

平けいりん
8月
6日 7日 8日
13日 14日 15日
場外車券賣場 福島郡山若松平
主催 平市

小泉金物店
器物 建築資材 大工道具
農業用具 スコップ
ツルハシ類
眼科 小児科
小名濱郵便局前電話七九八番
二二 森 醫院
醫師 三森光三
助産婦 三森晴

大理石テラゾーは
近代建築の華
機械化生産で大飛躍
何卒御用命下さい
葛碑 石蔵 大理石 一般販賣
吉田石材工業所
磐城駅前電話五四番

放
「水溫」二四、四度
「氣溫」二六、九度
午前十時現在
「本日」南風の晴れたり
曇つたり、午後には、
俄雨が降る
「海上」日中は多少風波
が出る
「都服装店」
「水溫」二四、四度
「氣溫」二六、九度
午前十時現在
「本日」南風の晴れたり
曇つたり、午後には、
俄雨が降る
「海上」日中は多少風波
が出る
「都服装店」

